



# もも組だより 11月号

平成29年11月20日 ことり保育園 担当: 田野



朝夕の空気の冷えさが増し、季節は冬へと変わり始めているようです。

先日は、保育参観にご出席いただき、ありがとうございました。

ピョン!と飛び出すカエル(紙コップ)を見て、驚いたり、喜んだりする子ども達の表情が微笑ましかったです。



さて、最近ほ、ことばのやりとりが増え、友だちと遊ぶことを楽しんでいきます。

動物の絵本を見ていた子が、「何が好き?」と友だちに尋ね、聞かれた子は、「これ!」と指差して応えていました。しばらくすると、次はクイズ形式になり、「これなんですかりん!」「そうそう」「こっちは?」と続き、いつの間にか絵本のまわりの話、ケルリと子ども達の輪が出来て、思いついた問題を出し合い、大いに盛り上がったのです。



また、あるときは、ブロック遊びの中で、友だちの脇に、ブロックを差し込むようにしています。どうやら検温の真似をしているようでした。その後ろには、自分でトレーナーの肩のホックを外して座っている子がいます。「次は私が言わせてもらうの」という気持ちなのでしょう。「熱計るの上手だね」と声を掛けると、照れくさそうに笑いながら、「検温じい」は続いていました。

日常のことを再現したり、順番を待ったり、遊びの中で、自然にやっていることに、大きな成長を感じました。今後も、成長を見守っていきたいと思います。

